

三井住友トラスト・グループの存在意義【パーパス】

信託の力で、新たな価値を創造し、
お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる

信託の力でパーパスを実現

パーパスにある「信託の力」とは、信託の多彩な機能や、高度な専門性・総合力、根本理念であるフィデューシャリーなど、広い概念を意味しています。

能力転換機能

高い専門性を活かして
資産を運用・管理する

例：投資信託



お客さま

資産

収益



資産転換機能

資産の性質や数を
柔軟に変化させる

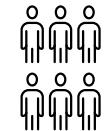
例：不動産証券化



金額の大きな資産



小口化



時間転換機能

時を超えて「想い」を
未来へつなぐ

例：年金信託



現在

掛金



運用・管理

給付金



将来

ビジネスを通じて創造する新たな価値

【信託の力を活用した社会課題解決型ビジネス】

ステークホルダー（3つの経済主体）に提供する価値

当グループは「信託」の多彩な機能を活用し、「循環」をキーワードに、個人・法人・投資家それぞれに生じる社会課題に対して、付加価値の高い商品・サービスをお客さまに提供します。

社会課題として積極的に取り組むテーマ

個人

高齢化社会に対応する資産管理、
国民の資産形成

法人

日本経済・企業の持続的成長
（財務・非財務の両面の課題への対応）

投資家

多様な運用機会、
インベストメント・チェーンの発展

新たな価値を創造する3つの価値創造領域

2030年に実現したい社会や当社の姿を見据え、好循環を促進する3つの価値創造領域として、①人生100年時代、②ESG/サステナブル経営、③地域エコシステム・グローバルインベストメントチェーン（ネットワーク）を設定しました。



人生100年時代



ESG/サステナブル経営



地域エコシステム・グローバル
インベストメントチェーン
（ネットワーク）

花開かせる豊かな未来

「一人ひとりの豊かさ・幸せ=Well-beingの向上」